Panasonic®

8M3 440 009

屋内形キャビネット・屋外形キャビネット

（露出形/露出・埋込両用形/埋込形）　（水切形）

施工説明書

取扱説明書

＜対象製品品番はカタログなどでご確認ください＞

施工説明書

施工会社様へ

- この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 施工完了後この説明書を取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

⚠危険

必ず守る	●接地線はキャビネットの接地端子に確実に接続する ～接地工事の不備は感電の原因になります～

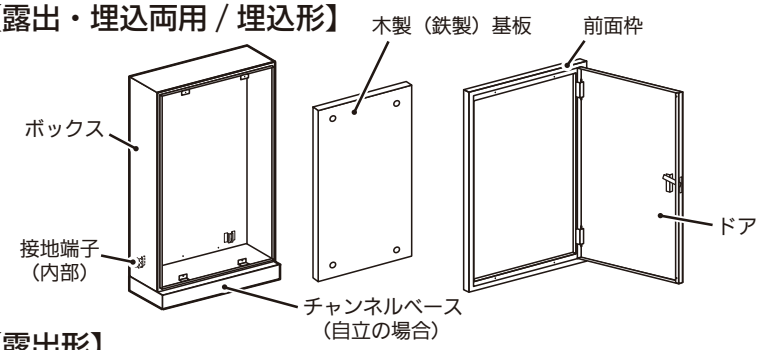
⚠注意

必ず守る	●壁への取付けや床面への固定は適切な太さのボルトで確実に行う ～取付け固定が不十分な場合、落下・転倒によるけがの原因になります～
必ず守る	●屋外形キャビネットは壁面とキャビネットの隙間をコーキング処理する（連結の場合は連結部もコーキング処理する） ～漏電などによる発火の原因になります～
必ず守る	●屋外形キャビネットは通線穴加工後防水処理を行う ～漏電などによる発火の原因になります～
禁止	●屋内形キャビネットは水のかかる場所には設置しない ～漏電などによる発火の原因になります～
禁止	●通風口がある場合、通風口をふさがない ～発熱・発火の原因になります～

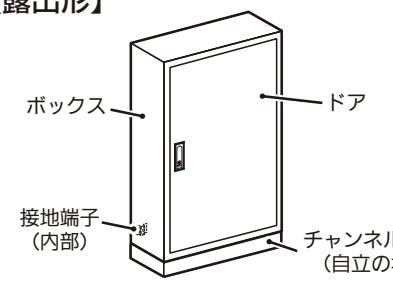
■各部のなまえ

屋内形キャビネット

【露出・埋込両用 / 埋込形】



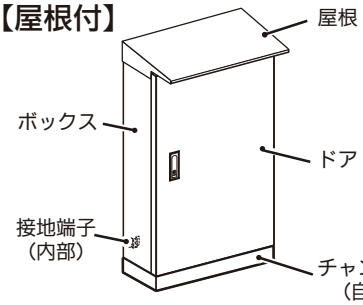
【露出形】



注）キャビネットには、取付け方向があります。
ボックス内面に表示されている、㊤マークを必ず上にして取付けてください。

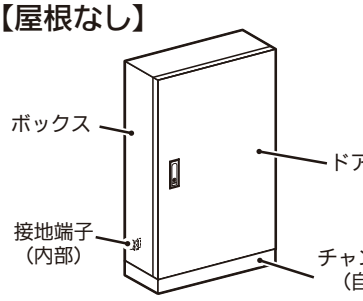
屋外形キャビネット

【屋根付】



注）品種によりドアの内側にある屋根前面側のネジを外すことで、屋根なしにすることができます。
（ネジの接触部など塗装がはがれている部分には、補修を施してください）

【屋根なし】



注）図は代表例であり、お手元の商品と一致しない場合があります。

■施工上のご注意

【壁掛けの場合】

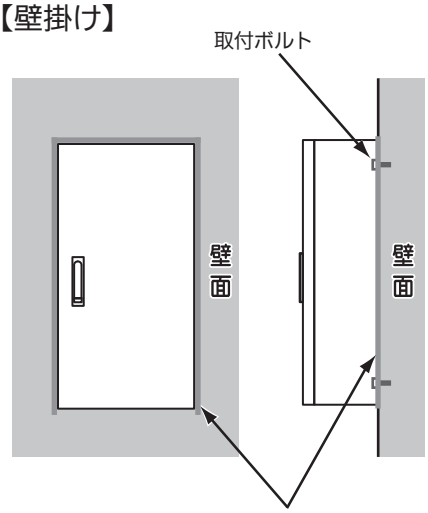
- 取付面の水平を確認し、仕様書に示した全ての取付部を適切なボルトで締付け、確実に固定してください。
- 壁に強度がない場合は壁に適切な補強材を設け、取付けてください。
- 露出取付けの場合はライナーなどで凸凹を調整した後、取付けてください。
  （キャビネットの対角寸法差が大きくなると、ひずみによりドアの開閉ができないなど故障の原因になります）
- コンクリート壁へ埋込取付けの場合はコンクリートの打設時に仮枠を設けてください。また、必要に応じ補強材を設けてください。
  （キャビネットで直接コンクリートを受けた場合、キャビネットが変形するおそれがあります）

【自立の場合】

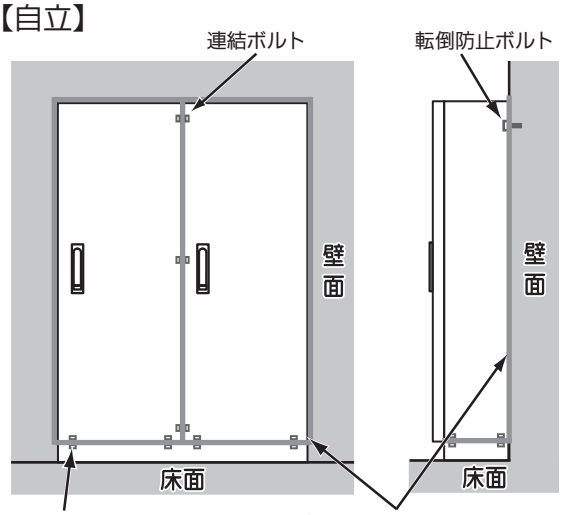
- チャンネルベースは床面の水平および取付方向を確認し、仕様書に示した全ての取付部を適切なアンカーボルトで締付け、確実に固定してください。またアンカーボルトの本締めはチャンネルベースにキャビネットを固定し、キャビネットの水平・垂直・対角寸法差を確認した後、行ってください。必要に応じ床面とチャンネルベース間でライナーなどを使用し調整してください。
  （キャビネットの対角寸法差が大きくなると、ひずみによりドアの開閉ができないなど故障の原因になります）
- 連結の場合は連結部に隙間が生じないように調整した後、①連結ボルト②チャンネルベース取付ボルトの順で本締めしてください。
- 壁支持自立の場合は仕様書に示した全ての転倒防止部を適切なボルトで締付け、確実に固定してください。
  必要に応じ壁とキャビネットの隙間や壁の凸凹を、ライナーなどで調整してください。
- 屋外形キャビネットを湿気の多い場所へ設置する場合はコンクリート基礎を設けてください。
  （湿気の多い地面に直接設置すると、結露し易くなり、漏電などによる発火の原因になります）

■露出取付け

【壁掛け】

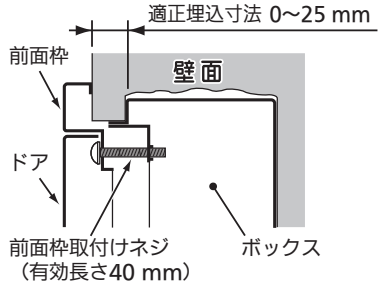


【自立】

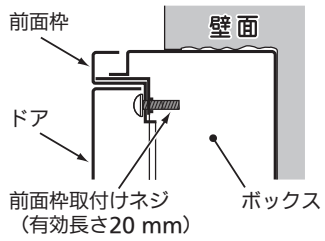


■埋込取付け

【全埋込】

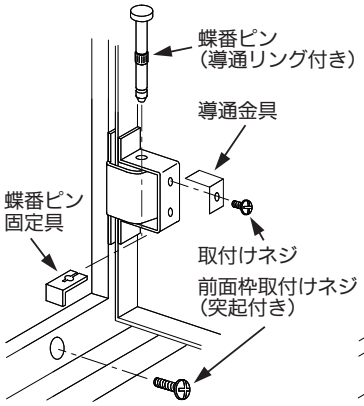


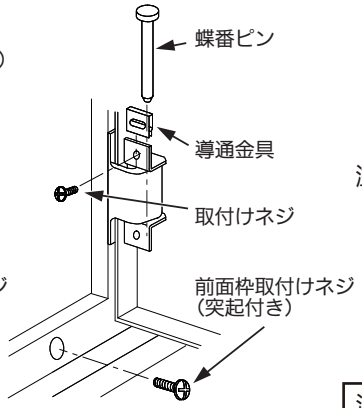
【半埋込】



■ドアの取付け　※ ドアなどを取外した場合は、図のように取付けてください。
取付け状態が異なると、キャビネットのボックスとドアを電気的に接続することができません。
（蝶番部の導通仕様は、下側のみです）

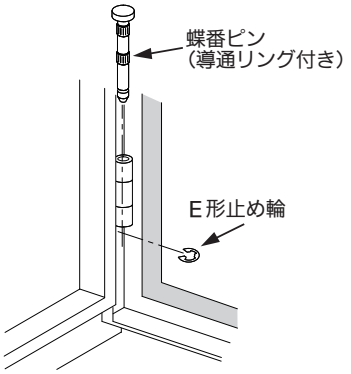
【屋内形キャビネット】





注）前面枠取付けネジ（突起付き）
の取付け位置は、キャビネット
右下部の1ヵ所のみです。
（前面枠取付けネジ（突起付き）は、突起により座面の塗装にキズをつけて、電気的に接続させます）

【屋外形キャビネット】



注）図は代表例であり、お手元の商品と一致しない場合があります。

取扱説明書
（保管用）

取扱者様へ

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 点検・交換には電気工事士の資格が必要です。
- 取扱い前に説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

⚠危険

禁止
- 端子部にはさわらない
  ～感電の原因になります～

⚠注意

必ず守る
- 点検や修理は電気工事士の有資格者が行うこと
  ～有資格者以外の電気工事は感電や火災の原因になります～
- 強風時のドアの開閉は注意して行うこと
  ～ドアが風にあおられ、けがの原因になります～

■取扱い上のご注意
- ドアは必ず施錠し、鍵を管理してください。
- ドアの前には物を置かないでください。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

施工会社　　電話

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012

8M3 440 009
PC0110-0112